

子檀嶺神社御柱大祭おねり行列について

子檀嶺神社の御柱大祭がいつから始まったかは定かではないが、天明2年(1782年)の記録があることから200年以上経過していることは確かである。

御柱祭は、御柱の注連張式に始まり、斧入れ式、山出祭、里曳き、御柱立てに終わる一連の行事で、本曳きは本祭当日に行われ、これに「おねり行列」が行われる。

本祭は、寅年、申年の4月に行われ、注連縄張式は前年の春に、斧入式、山出祭、里曳きは前年の秋に行われる。

おねり行列は、百万石の大名行列を模した格式の高いものといわれ、社名旗に続いて大祭委員長を先頭に、天狗、先鉄砲、御神宝、五彩綱、御難鎌、櫛と続く。

また、30数名からなる子供たちの小長刀がそれに続き、その後中長刀、振長刀、先箱、鎗、猪熊、大鳥毛、立傘、台傘など「奴」が綺羅装束に身を固め、武石地域総合センターから子檀嶺神社までの約2kmを2時間にわたって絢爛豪華に練り歩くのがこの行列である。

この後、子供たちの笛、太鼓の数十人が優雅な祭囃子を奏でながら続き、そこに御神輿が加わる。

そのほか、師匠、警護、目付、世話人など総数300人を超える大名行列が続く大変規模な行列である。このおねり行列には「振瓢」と「おかめ」が加わるが、このことが非常に特徴であるとされている。

これは、文政(1818~30)のころ、上田藩から農民の大名行列の模倣の差止めを受けたとき、武石から江戸の真影流剣術井上兵衛道場の門人として、武芸修業に出ていた「小松典膳」なる者が、上田藩主の前で長刀振りの妙技を披露し、その報償に行列の復活を認めてもらい、本物と区別するための道化を配ることになったといわれている。

このおねり行列は、昭和43年に「おねり保存会」として発足し、昭和46年には、武石村無形文化財第1号に指定、現在は上田市無形文化財に指定され、地域を挙げて保存に力を入れている。

本年4月10日に執行される予定であったおねり行列は、新型コロナにより中止となったが地域住民の強い要望により、この武石おねり秋まつりにおいて一部披露で披露することとなった。

武石おねり 秋まつり



有限会社 小林技建

TEL 0268-85-2370
上田市武石沖619-2



ハリ薬局たけし

土・日・祝日いつでも処方せん受付中!

電話 0268-85-3518
上田市武石沖162

工作機械製造・販売/部品加工/制御盤製作

株式会社 メクトロン

〒386-0503 長野県上田市下武石1240
TEL : 0268-85-2345(代) FAX : 0268-85-2347
URL : <http://mectron-inc.com>

橋詰建築

TEL 0268-85-3175
上田市武石上本入280

地域の安心・安全を守る!

上田市武石建設業協会 上田市防災支援協会武石支部

会長 樋沢 一幸

有限会社内田屋
北澤土建株式会社
株式会社小山林産
竹内トガ園
株式会社松井建設

有限会社掛川造園
児玉興業株式会社
有限会社ジョウシタ
株式会社樋沢産業
有限会社美国ホーム

御挨拶

本年4月10日に予定していた武石おねり行列は、新型コロナの影響により残念ながら中止となりました。しかし、地域住民からの強い要望により、一部披露の披露の場として武石おねり秋まつりを開催することとなりました。数か月に渡り練習を積み重ねてきた演武をぜひご覧ください。

武石御柱おねり行事実行委員長 伊藤 定衛

令和4年11月3日(木・祝)
9:00~16:00

会場 武石地域総合センター周辺・
武石銀座・子檀嶺神社
(雨天時：武石地域総合センター敷地内)

主催 武石御柱おねり行事実行委員会

